

# 高梁2025 “地域医療はまちづくり”<sup>①8</sup>

「高梁2025」は、持続可能な地域医療体制の構築に向けた取り組みの総称です。

## マイナンバーカードを健康保険証として利用すると…

①就職・転職・引っ越しをしても、ずっと健康保険証として使うことができます

②窓口で限度額以上の医療費の一時支払いが不要になります

③マイナポータルで自身の特定健診情報や薬剤情報を閲覧できます



④同意すれば、特定健診などのデータを医師などと共有し、より効果的な医療を受けることができます

⑤マイナポータルからe-taxに連動し、確定申告の医療費控除が簡単になります



マイナンバーカードを取得した後、マイナポータル(パソコンやスマートフォン)やセブン銀行ATMから申し込みができます。申込方法や利用可能な医療機関などについて詳しくは、厚生労働省のウェブサイトをご覧ください。マイナンバー総合フリーダイヤル(0120-95-0178)へお問い合わせください。



☎地域医療連携課 ☎ 21-0304

市ウェブサイト「高梁2025～地域医療の高梁モデル構築に向けた100の検討とアクション～」にこれまでの議論の内容などを掲載しています。



## マイナンバーカードを健康保険証として利用できます

DX(デジタルトランスフォーメーション)を含む技術革新を通じたサービスの効率化や、質の向上を図るための取り組みが医療分野でも行われています。この取り組みの一つとして、マイナンバーカードの健康保険証利用が令和3年10月20日から始まっています。

## 協力隊がゆく<sup>①6</sup>

4月は高梁市について知るために市内各所を散策したり、市内のイベントに参加するために初心者マークの付いた車でいろいろなところに出掛けたりしていました。5月は高梁市の名産品などが出品されている市外のイベントに参加したり、個人的に連絡を取って農家のお手伝いに行ったり、千葉県で行われた地域おこし協力隊初任者研修に参加しました。また、農家のお手伝いに行った

こんにちは。地域おこし協力隊の片山智恵です。最近急に暑くなり、家ではついに扇風機を召喚しました。また、寂しかった一人暮らしも何とか慣れてきて、今では週1回自分の好きな食べ物を凝って作っています。さて、私が着任してから3カ月が経ち、思い返してみるとあっという間の3カ月でした。最初は何かから始めてよいのか分からず毎日バタバタしていました。たぐさんの人々と関わり、さまざまな経験をして、着任当初に想像していた以上にとても楽しく充実した毎日を過ごしています。



かたやま ちえ 隊員 片山 智恵

時に初めて草刈り機を使いました。最初は慣れで怖かったのですが、だんだん慣れてくると無心で黙々とできました。無心になれる作業は好きなので楽しかったです。今は主に農家のお手伝いに行かせてもらっていて、農家の皆さんと会話をしながらの作業は楽しく、お手伝いに行く日は毎日わくわくしながら運転をします。まだまだ慣れない運転ですが、少しでも早く運転に慣れて、もっと市内のいろいろな場所に行きたいと思っています。この3カ月でたぐさんの素敵な人たちに会えることができ、どれも思い出深いものばかりで、楽しく活動できています。もし農作業などのお手伝いをして欲しいときはご連絡ください。



腰に付けている椅子で農作業が楽に行えます